



# RIKKYO SECOND STAGE

## Contents

- P1 セカンドステージ大学15周年目を迎えて
- P2~3 受講生の素顔
- P4~5 ゼミナール紹介
- P6 本科合同研修・専攻科合同研修
- P7 授業紹介レポート
- P8 修了生の紹介・チャペルを知る
- P9 図書館・メディアセンター・サークル活動紹介
- P10 15周年記念公開講演会・イベント紹介
- P11 異世代スポーツ応援
- P12 立教グリーンマップ・大学周辺マップ

立教セカンドステージ大学(RSSC)は、立教大学が提供する生涯学習の場です。RSSCは、RIKKYO SECOND STAGE COLLEGEの略称です。



発行：立教セカンドステージ大学  
 編集責任：水上 徹男 編集：ニューズレター30号委員会  
 発行日：2024年3月6日  
 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1



## セカンドステージ大学15周年目を迎えて 立教セカンドステージ大学副学長(立教大学副総長) 水上 徹男



立教セカンドステージ大学(Rikkyo Second Stage College)は、2008年4月に創設されてから、本年15周年目を迎えることができました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。立教大学が50歳以上のシニアのために創設したセカンドステージ大学は、人生のセカンドステージにおける学びの「場」で、「学び直し」「再

チャレンジ」「異世代共学」という学修によって、生き方を自らデザインできるようにサポートする目的があります。

カリキュラムも当初から人生のセカンドステージの入口で、今後の人生に役立つような内容を展開してきました。立教大学は社会の変化とともに革新してきましたが、このセカンドステージ大学も当時の社会のニーズに応えるものでした。設立当初は団塊世代が、大量退職の時代を迎えた時期であり、シニア層に向けた新たな学習の場として注目を集めています。「プレスリリースで2008年4月に開校予定であることが公表されると、多くのマスコミや大学関係者からのインタビューの申し込みがあり、

約1,000件もの電話の問い合わせと資料請求がありました」(asahi.com：生涯学習の現場(セカンドステージ大学)・立教ジャーナル2011)。すべての年代を対象とした単なる生涯学習ではなく、「シニア層の希望に十分にこたえるもの」として受け止められたようです。その後も充実したカリキュラムの提供とともに、すでに1,200名余の修了生を輩出しています。

2020年度に新型コロナウイルスが蔓延した際には、私たちの生活は大きく変化しました。感染拡大防止のため、大学生活もキャンパスを離れて、オンライン授業が広く導入されることになりました。通信環境が整えばオンラインで繋がり、学習の機会を構築できますし、ICT環境の進展が海外へのチャンネルを拓ける推進力になり得ます。しかしながら、本来のキャンパスライフを享受できなくなり、さまざまな問題や可能性について検討されることになりました。現在は対面授業を中心に据えながら、これまでの経験を活かした展開となっています。

グローバル化の進展のなかで変化する社会に対応するにあたり、「学び直し」「再チャレンジ」「異世代共学」などは、これまで以上に重要になってきました。また、「人生100年時代」と言われるなかで、リカレント教育も見直されています。セカンドステージ大学も、多様化・複雑化する状況に向き合い、次のステージへの展開が望まれています。今後ともよりいっそうのご支援、ご鞭撻をたまわりますようお願いいたします。

# 受講生の素顔

## 本科生

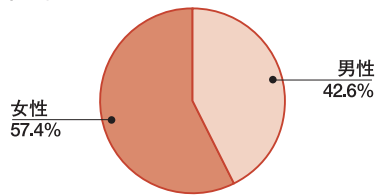
受講生アンケートから見える2023年度受講生の素顔です。

回答者 本科 : 64人 (対象 87人)

専攻科 : 24人 (対象 47人)

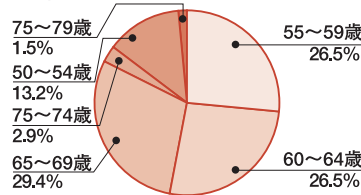
アンケートのご協力ありがとうございました。

### 性別



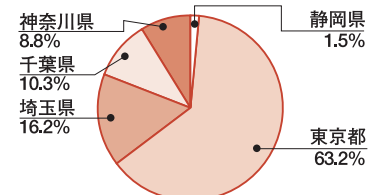
女性の割合が多くなっています。

### 年齢



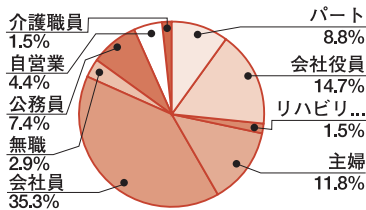
55歳から64歳までが50%を占めています。

### 居住地



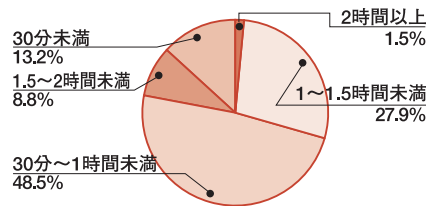
居住者が多いのは東京です。

### 現在の職業・元の職業



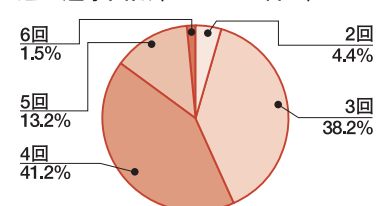
様々な方が学んでいます。

### 通学時間



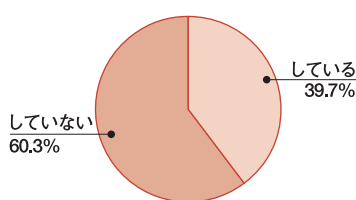
48%が1時間未満と近隣から通っているのが分かります。

### 週の通学回数(オンライン含む)



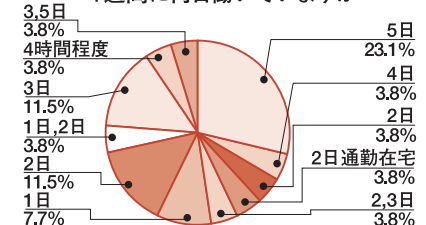
週の通学は3~4回が多くを占めます。

### 仕事の有無



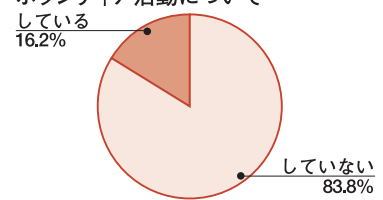
約40%の人が仕事と両立しています。

### 1週間に何日働いていますか



多様な働き方が見て取れます。

### ボランティア活動について

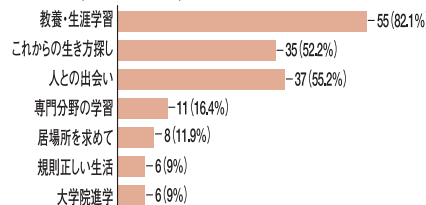


活動内容は子育て支援・ユニセフ・地域支援・子ども食堂・学習支援などが挙げられています。

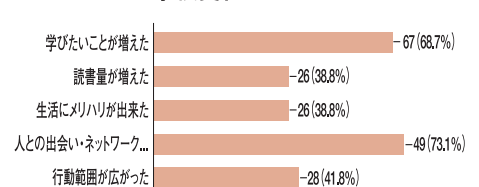
### 入学の動機(複数回答)

教養・生涯学習がトップでその他の回答では、キャンパスライフを楽しむこと・IT・デジタル、表現力、英語力などのリスキング・今までやったことのない事、仕事以外の世界を知りたかった・何を学ぶかというよりもどこで学ぶかが大事。薦の絡まる立教大学のキャンパスに憧れて入学。

### 入学の動機について聞きました(複数回答)



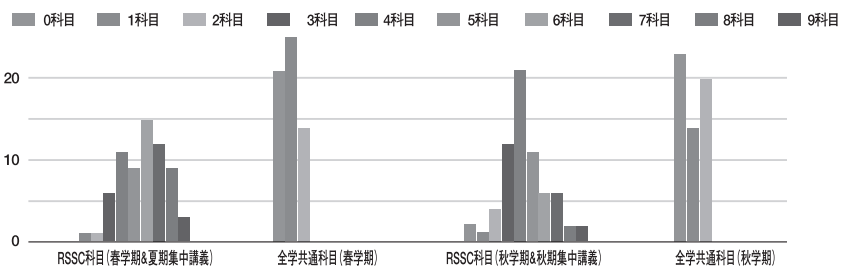
### 入学後変化したことは



### 入学後に変化したこと

学びたいことが増えた・人との出会いを選んだ人が多く、その他には、食生活が整った・座学が体力的にきつい。視界が変わった・何事にもチャレンジすることができるようになった等の回答です。

### 受講科目数(除く必修科目)



### 受講科目数(除く必修科目)

春学期RSSC科目6科目、全学共通1科目の受講が多く、秋学期ではRSSC科目が4科目、全学共通は0または2科目受講が多い結果になっています。

### Zoom授業

大変満足・満足が51%、普通の回答が38%です。

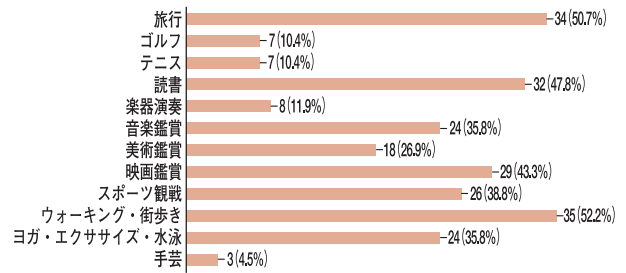
### (受講後の感想は)

- ・興味があったことはより深く惹きつけられ、興味のなかったことには新しい発見があり、どの講義も楽しかったです。
- ・社会人時代には関係ない分野の学問は刺激的です。
- ・全学共通科目は若い学生と共に学べるので大変有意義。
- ・楽しい事もあり面倒な事もあり
- ・立教大学のキャンパスを歩いているだけでうっとりしています。友人もでき大変満足です。授業内容にも満足しています。早く修論の呪縛から解放されたいです。
- ・適度な受講科目履修が大切。でないと息切れしてしまう。

- ・長く生きてきても、まだまだ知らない事、感動する事があり、大変に新鮮だったが、かなしいかな、記憶に留まらない。
- ・全学共通科目では、孫のような若い学生さんが、想像以上に素直で、話しやすく、こちらも学ぶことが多かった。
- ・シラバスでは読み取れない授業の雰囲気など、履修登録前に聞けたら良いと思います。残念な思いをしないために。
- ・受講生の意見も聞けること、あるいは意見交換の場があることが、魅力です。
- ・それぞれの授業で興味を持って学ぶことができた。
- 全学共通科目は、レポートテストに苦労しましたが大変刺激になり勉強できました。

## (趣味・特技)

趣味・特技についての回答は、様々です。他にも、・スナック  
写真撮影・トレッキング・ランニング・サーフィン・グルメ・  
食べ歩き・ハイキング・乗馬・バードウォッチング・バドミ  
ントン・サッカー・麻雀・カラオケ・外食・ショッピング・  
古カフェめぐり・カプセルトイの収集と収納・料理・手仕事・  
木工・異文化交流・旅行計画など多彩な趣味や特技の回答が  
ありました。



## (自由にコメントを頂きました)

- ・RSSCで得たご縁、人脈を大切にしたい
- ・40数年ぶりに大学キャンパスで学べるのは、いいものですね。
- ・RSSCに入り、人生後半戦の勢いが増えました。
- ・50歳以上の方々との交流は、年齢、環境、様々で、刺激があった。
- ・充実していますが、修論が大変過ぎる。
- ・立教の素敵なキャンパスで、大学生気分が味わえるだけで、特別な1年間でした。ここで出会った学びや仲間は、退職後のこれからの人生を豊かに彩ってくれそうです。この年で、こんなに充実した時間を過ごさせてくれたRSSCに、心から感謝です。
- ・もっと現役大学生との交流企画を実施すべし。

- ・大学のキャンパスの雰囲気がとても素敵です。その中でゆったりと学んでいるうちに、自分が変化してきました。まだまだいろいろな事に挑戦してみたい気持ちになりました。
- ・RSSCに入学して一番良かった点は、何もしがらみのない友人ができたことです。
- ・図書館が素晴らしい！他大学図書館よりも全然いい！！但しRSSC生も学部生と同様の権利（専用席利用や希望図書購入制度等）が欲しい！
- ・お陰様で大変充実した毎日を過ごしています。全学共通科目の受講できる科目数や外国語関連科目を増やしていただくと更に有難いです。

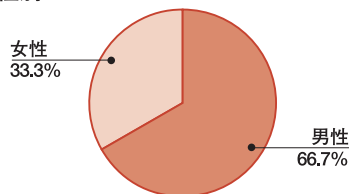
## 専攻科生

専攻科では、男性の割合が高く、60代が7割を占めています。進学の間機では、教養・生涯学習、人との出会いが多いのは本科生と同じです。他には、規則正しい生活・NPO法人への参加・大学院進学・趣味やボランティア活動に生かす・論文（研究で取り組みたいものがある）などです。

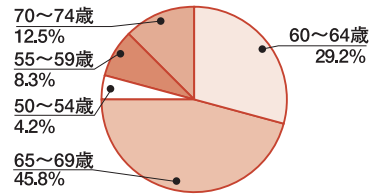
専攻科修了後の進路はまだ決めてない人が殆どです。

受講科目数では  
春学期RSSC科目は4科目、全学共通科目は1科目を受講する人が多く、秋学期はRSSC科目3科目と減っていますが、全学共通科目が2科目と増えています。

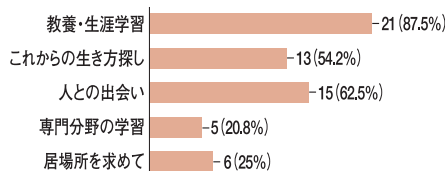
性別



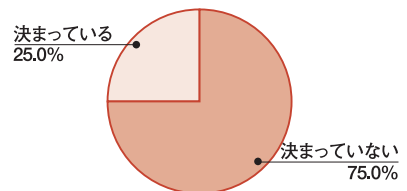
年齢



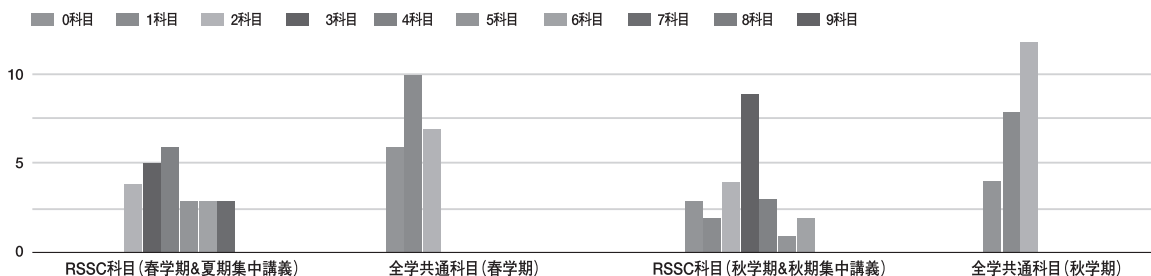
進学の間機 (複数回答可)



専攻科修了後の進路



受講科目数 (除く必修科目)



## (今後のことや本科生へのコメントです)

- ・1年はあっという間に過ぎていきますので、目的や目標を持って日々活動してほしいです。
- ・進路が決まってない人ほど専攻科に進学することをオススメします。また1年はあっという間ですが、2年在学すると少し慣れる分ゆとりができ、RSSCでコミュニティ形成がしやすくなります。そのため、本科では得られなかった『ステキなもの』を得られると思います。
- ・RSSC以外で現在所属している団体（社団法人）での活動を中心

に、学びも継続したい。

- ・本科と専攻科で先生方、友人など沢山の方と交流することで、今までの事、これからのことを考えるようになりました。社会を広く見ることが出来、全学共通科目ではより深く知識を学ぶことが出来ました。この2年間は有意義なそして、楽しい時間を過ごすことが出来ました。
- ・人生後半の入口で、これだけいろいろな人と一堂に会い、様々な学びや経験が出来る機会は貴重だと思います。是非RSSCライフを楽しんで下さい。



## 本科ゼミナール紹介



### 阿部ゼミ

【RSSCで学んだ・得たこと】▶ゼミ仲間と過ごす時間、苦しくも楽しい学び▶現実がサステナブルでない地球環境を学んだゼミ▶哲学や聖書などに会い興味深く学べたこと▶新しい出会いが沢山あった(人・学・場所等)▶たくさんの仲間と出会えたことが宝物です▶皆様、博識で活発。自分の鷹揚さを再認知▶学ぶことは世界の見え方が変わることとを感じる日々▶古典(古文)への興味が高まった▶入学を勧めて後押ししてくれた方への感謝が募った▶立派な図書館で有意義な時間を過ごせました!

### 大野ゼミ

【私のお気に入り立教時間】この春まで、まさか聖書とは! RSSCは驚きを(S.I.) 午前中の図書館の窓から観るライフスナイダー館(H.I.) 「ただいま」と「行ってきます」でタッチする図書館ゲート(T.K.) 図書館地下のソファー席、まったりできます(K.S.) 立教プール最高! 自分をリセットできます(Y.S.) キャンパスを行き交うイケメンさがす楽しみ(Y.N.) 松本楼でのちょっと贅沢で優雅なランチタイム(H.H.) ゼミが一番! 先生も仲間も親切で感謝(K.W.) 登校時はチャペル前で深呼吸、心穏かに♡(K.F.)



### 栗田ゼミ



【RSSC】未来について語りたい つい昔話に花が咲くRSSC(M.I.) ミモザ咲き 春に包まれ RSSC本科修了(K.W.) 学舎、先生、仲間。学ぶ環境に感謝!(T.S.) 知識と人間の枠の拡大には最高の学び場です。(K.Y.) RSSC全カリ科目共に魅力的だった(H.N.) 栗田先生は二番目に厳しいと言いますが全然厳しくない。(T.N.) 柔らかい人! を目指し、はじめの一歩とした1年(N.K.) とりどりの花々やキャンパスにテンション上がるRSSC(T.H.) 老化加速中、世界が広がる緑のRSSCに遊ぶ(N.M.)

### 佐々木ゼミ

【みんなの一言ゼミ紹介】☆充実した人生を学びと共に仲間とアップデート中☆励まし合い助け合い大切な仲間をありがとう! ☆暖かくも的確なご指導の下、哲学的思考の修行中です☆楽しく学べる事の喜び、敬愛すべき先生・仲間へ感謝! ☆ゼミ生の多様な関心事で改めて人生を刺激されます☆ヒマラヤ杉と学舎の下、繋がる広がる深い学び☆チャペルとヒマラヤ杉に見守られ、よく学び、よく遊び☆哲学的思考という新しい視点から人生の学び直し☆我ら佐々木先生と弟子達。幸福への旅は始まったばかり



### 野澤ゼミ



ゼミ生は女性5名、男性4名。野澤正充先生を含め5:5でバランスの取れているゼミです。遠方から、仕事をしながら、地域活動をしなが、リタイア後など、個性あふれる人たちが集まっていて話題が豊富で楽しいゼミです。春学期は法学部の教授らしく、裁判や契約について文庫本を読んでの討議、秋学期は一転して論文を中心としてのゼミとなりました。ポイントをついた指導をしてくださり、ありがたいです。野澤先生は穏やかで、グルメでもあり、厳しくも楽しいゼミを過ごしています。

### 野田ゼミ

今年初めて出会ったとは思えないほど非常にチームワークがいい野田ゼミを紹介いたします。全く別のフィールド(IT系、エンジニアリング系、金融系、小学校教師、日本語学校教師、主婦、企業経営、臨床検査技師、土木コンサルタント、公益社団法人)から集った総勢10名が野田研一先生のシビア(?)なご指導の下、修了論文作成を楽しみながら学生生活を謳歌しております。六大学野球を学生応援席で参加したり、有志で清泉寮に行ったりもしています。今後も楽しくやりましょう!



### 堀ゼミ



堀ゼミは、先生をダディとする3男6女の10人家族です。長男T.F.は、美声で岩崎宏美が好きな白髪紳士。次男A.K.は、ゼミ会を仕切るジェントルマンで愛妻家。三男Y.K.はサッカー命の立教ボーイ。長女K.S.はマミー代わりのおしゃれなお姉さま。次女T.M.は高尾山を愛する山ガール。三女K.A.は猫と童話が大好きな癒し系。四女M.N.は、夫婦で仲良く名古屋から池袋に移住。五女N.S.は妖怪大好きチャーミング娘。六女N.M.は、みんなから愛される末っ子キャラです。



## 松山ゼミ

縁あって集まった女性5名と男性4名。初めての集まりで、「みんな！あだ名で呼び合おうよ！」っていう誰かの思いつきにみんなすぐに賛同！以来、〇〇ちゃん、△△さんなどあだ名が飛び交う間柄。いつぞやの親睦会でのゼミメンバーの紹介時には、「そちらの席に座っているのが〇〇ちゃん！苗字は・・・何だっけ？」となる始末。ちょっと脱線気味のメンバーですが、優しくも厳しい松山先生の指導のもと、団結して修了論文に立ち向かった本当に仲の良い9人組です。

## 和田ゼミ

ゼミ担当教授陣の中でブッチギリの若手で、地球を救うために人工光合成を研究中で、バリバリ理系の理学部化学科の和田亨教授が率いるゼミ9人。各人のキャリアに加えRSSCで履修した科目の知識を吸収し、和田先生の神々しい(?)ニコニコ光線パワーのエネルギーが加わり、光合成ならぬ不思議な化学反応が発生。無事修了論文を書き終えることができました。修了後の進路はそれぞれですが、これからも、この出会いの縁を大切に、人生のひと時を一緒に過ごした仲間として末永く付き合っけてゆくつもりです。(文責：武藤)



## 専攻科ゼミナール紹介



## 上田恵介ゼミ

一生の仲間の上田(恵)ゼミはとっても仲良し！【100歳になった私たちは】マスタース水泳大会に参加して世界へ(高)夫婦共々、手を取り合うことなく自立して地元散策する(石川)お茶を飲みながら、朝から昔話で煙たがられる。(柏木)まだまだ走って、日本周遊めざす自転車小僧(木村)ジム活とお祭り三昧。不老不死の薬を探してる(佐藤)ドラえもん型ロボットと楽しくテニス三昧(志村)立教サードステージ大学の学生(能州)最高齢スイマーのギネスに挑戦(広瀬)

## 上田信ゼミ

上田信ゼミは、男性6名・女性3名の総勢9名で構成されています。専攻科ともなれば個性が強い自分本位の集団になるのでは?と思いきや上田信先生を筆頭に、奥ゆかしい紳士淑女ばかりが集うゼミとなりました。まさに上田信先生が唱える「一人は皆のために、皆は一人のために」を実践する集団です。本ゼミでは、個々が創造する多種多様な修論テーマを基に大いに刺激し合い、自主ゼミでは、ジャーナリズムの鉄則5W1Hに徹したフィールドワークを実践するなど、新たな知の発見に汗を流しました。このような活動を通してプラチナステージ世代の交流や相互研鑽はもとより、今ではかけがえのない個性豊かな仲間達が集うゼミとなっています。



## 黒木ゼミ

経済の話やパスタを食べながらのイタリア談義、黒木ゼミは知識の泉です(富澤)先生とゼミ仲間と多くを学び充実した日々でした(田中)心が清くて強く、深くて広い人の集まりです(今井)人生のアクセントRSSC一生の宝(古瀬)ワイワイガヤガヤやっていると、時間が経つのが早い(大上)RSSCでの収穫は現役の学生さんの考え方を知った事(山崎)第二の青春モラトリアム万歳(岩橋)黒木ゼミ最高です(檜原)那須の合同合宿、山中湖のゼミ合宿忘れません(斉藤)

## 平賀ゼミ

【幸せを感じる瞬間】山中伸弥氏が毎朝6時25分にする運動:同じだった(平賀)合宿ゼミ自慢5分ピタリで優勝の夢をみた時(井上)38年待った阪神日本一(今村)ゴルフで、思い描いたショットが打てた時(川田)氷上の天使三原舞依の美しいスピンを観る時(斎藤)カラオケで自己最高点を更新した時94.736点(中川)RSSCで出会った仲間とのんびり話をする時(野呂瀬)陽の光、樹木の緑、鳥の声、いつもの朝迎えた時(原)横浜スタジアムがブルーに染まった時の一体感(別府)飲み屋で瓶ビールを頼んだら大瓶が来たとき(遣澤)



## 渡辺ゼミ

【渡辺ゼミはRSSCでの2年間を振り返ります!】43年振りの蕨の学舎は前を見よと私を喚け続けた(石坂)卓越した環境で学ぶ喜びは自分を変えました(猪俣)そう別の自分に出会えたけれどなぜか懐かしい感じ(高橋)学び・出会いに向き合った日々Nextステージへ半歩(多田)学びを楽しむもう1人の自分を発見した日々でした(田中)新たな学びと出会いを得て視野を広げた2年間でした(波多野)新しい景色と自身が見えつつも今尚続く対極の自分探し(古田)あこがれのセントポールキャンパスライフ大満足!(本田)2年間の学び光陰矢の如し次なるステップは何処(前田)



## <第16期本科のゼミ合同研修>

### 第1弾・はとバスツアー 合同研修初!!「はとバスジャック」

はとバスツアーは9月15日(金)に総勢78名(内先生方5名)が参加。10:50に東京芸術劇場前を出発し、まず第一ホテル東京での昼食で腹ごしらえをし、その後東京タワーの展望台で天空から360度の東京を一望、最後はシンフォニー船での東京湾クルーズでお茶とサックスの生演奏を楽しみ、優雅な気分のまま17:00に東京芸術劇場前で解散という行程で行われました。昼食では世界のさまざまな料理を味わいながら、普段接する機会が少ない他のゼミの方々と自己紹介を兼ねてゆっくり話すことができました。残念ながら東京タワーを出発してから東京湾クルーズが終了するまで大雨に見舞われ、海上からの景色はほとんど楽しむことができませんでしたが、ルート上のさまざまな重要施設のバスガイドさんの丁寧な案内もあり、参加者からは「東京に長年暮らして初めて見た!」との感想も出て、非日常が楽しめたツアーでした。



さあこれから東京タワーだ!



シンフォニークルーズ船モデルナ

### 第2弾・講演会&懇親会 民法の講演会は映画観賞会?懇親会はゼミの枠を越えて!

講演会&懇親会は9月19日(火)に開催。講師は立教大学法学部教授、立教セカンドステージ大学でも本科ゼミをご担当の野澤正充先生、主題は「物事を論理的に考えてみよう!」でした。映画「シェルブールの雨傘」の一部を視聴後、描かれた時代では特定物に対して不特定物が急増しつつあったとご説明くださいました。またタトゥーと医療行為についての実際の判決を三段論法に則ってご紹介いただき、三段論法は修了論文に活用できるという有難い情報も頂戴しました。先生の何気に頻繁に差し挟まれるユーモアのため、終始和やかな雰囲気でした。



講演中の野澤先生

その後の日比谷松本楼セントポールズ会館店での懇親会では、ゼミ毎のゼミ紹介スピーチ、ゲームやクイズを楽しみ、合間の歓談はゼミの枠を超えて賑やか過ぎる程でした。栗田先生の締めのお言葉通り、直に顔を合わせて集える幸せを実感したひと時でした。



クイズ大会で盛り上がる

## 専攻科ゼミ合同研修

10月に行われた那須塩原での専攻科合同研修会は、専攻科に学ぶシニアの私たちに自然の美しさと和やかなひとときを楽しむ素晴らしい機会でした。1日目は、那須塩原駅に集合し、送迎バスにてラフォーレ到着後、昼食。先生方の講義、渡辺先生の気功の実践では思わぬ効果に驚きました。また、平賀先生の非言語コミュニケーションでは、まことちゃんグワシがアイラブユーと知り、上田先生には翌日の平成の森での野鳥観察の予習として那須高原に生息する野鳥の講義していただきました。懇親会では、フレンチのコースをいただきながら、仲間たちとの楽しいひとときが待っていました。他のゼミの友人達との新しい出会いがあったり、ゼミ自慢対抗やジャンケンゲームなど大いに盛り上がり、笑いの花を咲かせたりしました。

2日目は、上田先生野鳥観察会。平成の森での野鳥の会は新鮮な秋の風を感じながら自然と調和する絶好の機会でもありました。野鳥の声を尋ねながら自生する竜胆の美しさや麒麟草の可愛らしさに触れることもできました。残念ながら予習の甲斐なく野鳥の声をたくさん聞くことはできませんでしたが、合宿委員会で行ったアンケート結果によると、「自然の中を散歩できて、気持ち良かった」、「委員の皆さまの、飽きさせないアナウンスが良かった」、「平成の森がシニアにとって優しく心地良かった」などのコメントも多数ありました。合同研修全体評価で8割の方が「申し分ない」、2割の方が「まあ良かった」との評価で皆さん概ね満足したようでした。さらに、温泉でリラックスし、美味しい食事を楽しむこともできた1泊2日の楽しかった合宿は、これから本格的に修論に取り掛かる私達にとって楽しさとリフレッシュメントの場として素晴らしいものでした。



## セカンドステージ大学授業紹介

### 「食と健康の科学」(松山伸一先生)

4月から7月の全13回の講義を終えての感想は、日々の生活に役立つ「ためになる講義」で、本当に受講して良かった。私たちの世代にとって「食」と「健康」は最大の関心事、受講生みな多かれ少なかれ生活の中で気にしていることではあるが、松山先生の講義を通じて、過去の生活習慣や現在の健康への取り組み、その一つ一つが正しいのかそうでないのか明らかにされていった。そして、毎回のテーマとそのキャッチコピーが私たちの興味をそそる。

「5/8 糖質：糖質制限ブームで着せられた濡れ衣」、「5/22 やせと肥満：減量すれば美と健康が手に入るのか」(2023シラバスより抜粋)等々、自分たちの常識の真偽や問題点をわかりやすく解説してくれる。そして松山先生の講義の魅力は、受講生が講義後に提出したリアクションペーパーの質問や相談に一つ一つ、先生が次の回に文書で答えてくださることだ。その一つ一つのやり取りは「セカンドステージ世代」の共通の思いや悩みが含まれていて「あるある」、「そうそう」と共感できるものがほとんど。講義とともにこのリアクションペーパーへの回答が毎週の楽しみになり、その回答はこれからの人生をより良く生きるための財産になった。本当にありがとうございました。

### 夏期集中講義「セカンドステージの住まいづくり」(甲斐徹郎先生)

甲斐先生は、住宅の内側ばかりを快適にするのではなく、家の外にある環境との関係やつながりを考えなければ、本当に豊かで快適な暮らしの場は生まれえないという思いから、緑との快適な暮らしと、緑から人と人がつながるまちづくりをプロデュースされています。今年の夏は希にみる暑さとなり連日の猛暑の中、夏期集中講義が行われました。初日は、「クーラーなしでクーラーより快適な住まいのつくり方」の講義があり、クーラーなしで暑い夏を過ごせるのか半信半疑でしたが、大学構内でグループ毎に、定められた地点の気温、湿度を計測するというワークショップで得られた、日陰や風が吹けば涼しく感じるという体感温度が手がかりになりました。例えば、窓の外にすだれを掛ける、緑のカーテンや木々による日陰を作ったり、風の通り道を作ることで涼しさが増すことを実感しました。そこからクーラーより快適な住まい方、緑の重要性を知り、さらに、各地域の事例紹介から緑のある住環境、コミュニティを機能させる手法、シェアハウスなど住まいとコミュニティが密接に関連しあっていることを学びました。孤立をしない住まい、地域と関わる住まいなど、シニア世代の住まいがどうあるべきか、先生の講義と受講生同士の討議で考えることができた三日間でした。



### 全学共通科目「SDGs×AI×経済×法」(河村賢治先生、阿部治先生他)

立教セカンドステージ大学では若い学生たちとの異世代共学授業を履修することができます。SDGsをAIや経済、法律など学問横断的に考える「SDGs×AI×経済×法」では、各分野のゲストスピーカーから最先端かつリアルなお話があってSDGsに対する捉え方、向き合い方が変わるとともに、現役学生とのグループディスカッションでは若者ならではの理想に満ちた意見に刺激をもらい、今後の自分のあり方を考える貴重な時間になりました。また授業の発展形として、10月に有志で「すべての人に自然の中の生活を」がコンセプトの「ふもとっばら」(富士宮市)エコツアー体験に行きました。そこではすでに6次化(農産物に加工+流通・販売を加える)が実現されていてSDGsをより身近なもの、自分ごととして捉えることができました。モラトリアム期間にいる自分に第二の人生と向き合う有意義な時間となった異世代共学の授業や体験に感謝し、これからの歩みに繋げていきたいと思えます。



伐採作業も経験  
(エコツアー体験)

### 全学共通科目 立教ゼミナール発展編「青年をめぐる現代社会の諸問題」(大野久先生)

異世代共学は、RSSCの特徴の一つ。秋学期は、大野久先生の「青年をめぐる現代社会の諸問題」が学部生とシニアの対話型授業でした。大野先生にお聞きすると「授業は、自我の生涯発達について私が講義し、その内容についてセカンドステージ大学の受講生と学部学生が、少人数のグループに分かれて討論するというものです。内容に将来の進路選択や、親子関係、自立の過程などがありますので、シニアと学生で話がかみ合うのかとだいぶ心配しましたが、『親とは話せない内容について、シニアの意見が聞けて良かった』という学生の意見や、『これまで若い人と向き合っただけで話をしたことがなかったので、今回良い経験だった』というセカンドステージ大学の受講生の感想があり安心しました。」とのお話でした。

RSSCの受講生のMNさんに、授業の様子を伺いました。「授業の前半は、先生による青年期の発達心理学の講義です。数十年間学生のレポートを分析されてきた先生が、アイデンティティや愛などについて、エピソードを交え、講義されます。学部生もシニアも『あるある』という感じで、終始笑いが絶えません。後半では、学部生2名シニア2名の計4名で意見交換を行います。対話メンバーは毎回入れ替え制です。和気あいあいとした雰囲気、時間が短く感じられます。まれにシニアの話がお説教のようになつたりもしますが、ご愛敬ということで許していただきましょう。生涯発達の話が出た時には、シニアから『今が一番幸せ』という言葉が出ました。異世代が少人数で、一つのことを語り合うと、新たな発見があり、有意義な時間を過ごしています。」



# RSSC修了生の紹介

## 8期生 青木美恵さん



青木美恵さんは現在、春は箕口先生の「アドラー心理学を学ぶ」、秋は三浦先生の「グローバル社会とメディアの使命」の講義で

教育サポーターを務める傍ら、RSSC同窓会公認サークル「RSSCあどらーカフェ」の代表や、「NPO法人シニアの再チャレンジを支援する会」(さいちゃれ)の理事も務めるなど、とてもアクティブな日々を過ごされています。RSSCは年度により雰囲気の違いが出るようで、教育サポーターの立場からそれを実感できることはとても新鮮だそうです。明るく気さくでキラキラとした笑顔から、現在がとても充実している様子が伝わってきました。

## 14期生 神崎真理子さん



神崎さんは音楽家(歌手)として活躍する傍らRSSCに入学し本科では松山ゼミ、専攻科では高橋ゼミで指導を受け昨年度3月にR

SSCを修了しました。RSSCの活動として合宿委員会に所属し、バックボーンの違う受講生と同じ目線で付き合えた事がとても嬉しかった様子。自分自身の世界も広がったことで楽しい学生生活を思い出すそうです。現在は秋草学園短期大学の非常勤講師として、週1回の講座を担当されています。なお、今後も個人コンサートを開く予定です。

## 14期生 熊谷隆さん



熊谷さんは本年度からRSSCの聴講生として修了後も勉強されています。熊谷さんを立教大学内で見かけたことがある方も多

いと思いますが、池袋図書館のビデオコーナーに通い日本映画(全般)を1日2本ペースで観ており、現在までに約1000本の映画を鑑賞されています。又、個人サークルとして「落語を観賞する会(登録者41名)」を2~3ヵ月に1回の割合で観賞会を開催しています。参加費も3,000円程度で初めての方でも気軽に参加されています。昨年10月から日本語学校で日本語の講師をしておられ、RSSCの聴講生と仕事に充実した生活を送っています。

## チャペルを知る ~礼拝に参列しましょう~

チャペルとは、学校や病院などの施設に付属する礼拝堂のことです。みなさんはキャンパスにあるチャペルの礼拝に参加されたことがあるでしょうか。礼拝はだれでも参加することができます。はじめての方も参加しやすいと思われる礼拝案内を紹介します。

### ■礼拝案内

立教学院諸聖徒礼拝堂(池袋チャペル)【朝の祈り】月~土曜日8:20~8:40(授業期間中) チャプレンの聖務時祷として行われ、一日のはじめに立教学院と世界の平和のために祈ります。【昼の祈り】毎週月・水・木曜日12:50~13:10(授業期間中) 月曜日は、チャプレンによる講話があり、水曜日は「歌による昼の祈り」として、聖歌隊とともに礼拝を行います。木曜日は「学生は語る」と題し、学生がキャンパス・ライフを振り返って、経験をお話しくださいます。【夕の祈り】毎週金曜日17:45~18:45(授業期間中) 聖歌隊やハンドベルとともにささげる、英国の大聖堂やカレッジチャペルの伝統的な形式での礼拝です。

立教学院聖パウロ礼拝堂(新座チャペル)【昼の祈り】毎週火・木曜日12:50~13:10(授業期間中) 昼休みの祈りのひとときです。チャプレンによる聖書に基づくメッセージを聞き、祈り、聖歌を歌います。チャペルに広がるオルガンの響きもお聴きください。

### ■礼拝のおもな流れ

礼拝に用いる、「式文(礼拝の進行がかかっている小冊子)」「聖歌集」「聖書」を受付で受け取り着席します。礼拝は、式文に記載されている順序で進みます。おもな流れは、おおよそ次のようになります。

オルガンの前奏礼拝が始まります。着席して心を落ち着かせましょう。聖歌パイプオルガンの伴奏に合わせて全員で歌います。聖書の朗読 その日の礼拝にふさわしい聖書箇所が読まれます。説教(奨励)司式者または奨励者によるお話を聞きます。聖歌パイプオルガンの伴奏に合わせて全員で歌います。オルガンの後奏 着席して心を落ち着かせましょう。祭壇のろうそくの火が消えると、礼拝は終了です。(礼拝案内と礼拝のおもな流れの内容は立教大学のホームページから引用) なお、チャペルでは礼拝以外にもコンサートや講演会も行われています。

### ○はじめて礼拝に参加したときのこと

(池袋キャンパス) 受付で受け取った「式文」「聖歌集」「聖書」を手に、着席。礼拝が始まるまで「式文」に目を通しておりました。式文には礼拝での所作(立つ、座る、読む、歌うなど)が記されていますので安心して参加できました。はじめて参加したのは木曜日の「昼の祈り」で「学生は語る」という礼拝にあたりました。参列しているみなさんを前に幼少の頃から現在の大学生活を過ごす中での信条を力強く述べておられました。登校日との関係もありますが是非ほかの曜日の礼拝にも参加してみたいと考えております。

(新座キャンパス) 礼拝には参加していませんが、一度見学をしました。正門に立つと正面にチャペル、その左側にはベルタワーが立っています。内部にはそびえ立つような美しいステンドグラス、入口上部にパイプオルガンがあり、丁度練習していたのでしょうか、荘厳な音が響いておりました。こちらの礼拝にも参加してみたいものです。



## 図書館及びメディアセンターの紹介

### ▷池袋図書館

池袋図書館は「伝統と革新の図書館」として、キャンパスに点在していた図書館を移転、統合する形で2012年11月に開館している、立教大学の知の根幹を支え、学びをサポートする体制は今日まで引き継がれています。シニア世代が知るかつての図書館は静かに読書をし、学習する場でしたが、今は学びの形が多様化し図書館も新しい学びへの対応が求められています。池袋図書館には、長時間勉強に集中できるゾーン、パソコンが使用できる机、デスクッションができるエリアなど目的に応じて個人、グループが活用できる学びの場が用意されています。合わせて池袋図書館の開館時間は、授業期間の平日において8:30から22:30まで（日曜、祝日の開館時間は別時間）となっており、年間開館日数も320日を超え利用者の学びにえています。RSSC受講生にとってもゼミ活動に使える学習室の利用が可能なおことから、学習を進めるうえでの利点となっています。

〈本科：回答者67名、回答率77%〉

〈専攻科：回答者24名、回答率51%〉

池袋図書館の利用について (11月現在)	池袋図書館の利用について (11月現在)
毎日利用する：3人 (4.5%)	毎日利用する：0人
週3~4回利用する：11人 (16.4%)	週3~4回利用する：3人 (12.5%)
週1~2回利用する：52人 (77.6%)	週1~2回利用する：20人 (83.3%)
利用したことがない：1人 (1.5%)	利用したことがない：1人 (4.2%)

### ▷メディアセンター

一般的にシニア世代はパソコン操作が苦手だと言われており、RSSC入学の時に戸惑うのはパソコンの操作です。そんな時の強い味方がメディアセンターです。場所は8号館4階にあり、WiFiに繋がらない、Zoomに入れないなど困った時に学生スタッフがサポートしてくれます。RSSC受講生も、事前予約制で対面によるサポートを受けることができます。サポートを受けた受講生からは、操作のうえで助けられたとの声が聞かれました。

〈本科：回答者67名、回答率77%〉

〈専攻科：回答者24名、回答率51%〉

ITサポートの利用について (11月現在)	ITサポートの利用について (11月現在)
利用したことがある：19人 (28.4%)	利用したことがある：9人 (37.5%)
利用したことがない：48人 (71.6%)	利用したことがない：15人 (62.5%)

## -----サークル紹介-----

### RSSCシニアプロボノ研究会

RSSCシニアプロボノ研究会は、2023年1月に設立されたばかりの新しい研究会です。10月現在の会員数はRSSC在籍生6名、修了生13名、立教大学部生2名の計21名で活動しています。月1回開催している運営会議に取材でお邪魔したところ、皆さん気さくでとても居心地良くすぐに溶け込んでしまう、そんな魅力的な雰囲気を持つ研究会でした。他の研究会と異なる点は、全会員で力を合わせ取組むのではなく、各々の職業上または生活体験のスキル・知識・経験を社会貢献と結びつける架け橋的存在という点です。詳しくはRSSC同窓会HPをご覧ください。以下はウィックスクスお代表からのメッセージです。「RSSCのすべての皆様は、素晴らしいスキル・知識・経験の持ち主であり、さらに好奇心旺盛な方々です。そして、沢山の素晴らしい『宝』をお持ちの人たちです。しかし、その『宝』を社会貢献という形で活用しないことは、非常に勿体ないと思います。皆様の『宝』を必要としている他の人たちが必ず待っています。是非、ご自分の『宝』を社会貢献に活用してみませんか？RSSCシニアプロボノ研究会は、皆様という点と社会という点を繋ぐ架け橋になればと活動している研究会です。」



### ウクレレ合唱団「鈴懸」

10月15日に開催されたホームカミングデーで、赤と青のアロハシャツを着た「鈴懸」の皆さんが、楽しい歌とウクレレを披露しました。演奏の後、バンドリーダーの山崎さんと数人のメンバーにお話を伺いました。ウクレレ合唱団「鈴懸」は、RSSCの1期生から本年度入学の16期生が参加するアットホームなサークルです。長く会を運営していく秘訣をお聞きすると、みんな口を揃えて「ゆるーく、楽しむことよね」と答えてくれました。その他に「練習の後の親睦会が一番の楽しみ」「いろんなイベントに出演してモチベーションを保っています」という声も。とにかく、みんな明るく、穏やかな雰囲気に包まれていました。そんな「鈴懸」にも、二つの解散の危機があったと、バンドリーダーの山崎さんが教えてくれました。一度目は、5年前創設者でリーダーだった方が突然亡くなった事、二度目はコロナ禍で、対面で練習することができず、存続が難しいと思いつめたそうです。そんな時、部員全員が「リモートで練習しよう」と声を掛け合い、励まし合って練習を続けたそうです。現在では、定期練習を月2回行い、介護施設への訪問演奏やRSSCのイベントにも出演されています。



### RSSCあどらーカフェ

10月15日のホームカミングデーにて、バリスタのエブロンを着けた箕口雅博先生とメンバーでの寸劇による「RSSCあどらーカフェ」(通称「あどカフェ」)プレゼンの後、先生と出演者のみなさんにお話を伺いました。同好会がスタートしたのは2019年。前年に箕口先生からアドラー心理学を学んだ11期生の有志が、もっとアドラーを知りたい、学びたいという思いから「アドラー会」を結成しました。その後2021年にRSSC同窓会から同好会として認められ、それを機に「あどカフェ」と名を変え運営されています。勉強会は、課題図書はなく、セントポールズ会館で先生からの講義を聴き、その後グループワークによる討議と意見共有を行なっています。勉強会の後は、飲み会ですらに議論が沸騰(?)。毎年、2~3回開催。参加人数は、毎回20名前後とのこと。箕口先生に参加者に何を学んでほしいかを伺うと「RSSC生は、すでに多くの経験や能力があります。皆さんがこれから生きていくうえで幸福な人生になるヒントを感じてもらえれば」とのことでした。アドラーとか心理学と聞くと、難しそうだなあと思いがち。皆さんも気軽に「あどカフェ」の扉を開いてみてはいかがでしょうか？



### ザ・サードプレイス

今回は、ザ・サードプレイスのLIVE「僕らの時代VOL.2」に向けた、合同練習の状況を坂川克己代表のご厚意により取材させていただきました。14期生が中心となり13期生、15期生など10名が参加され、2024年3月10日と17日に行われる池袋でのLIVEに向け、月2回の合同練習の他に自主練習で腕を磨いています。活動2年目に入って息もピッタリと合い、演奏レベルも徐々に高まってきています。又、昨年のLIVEにも参加された物理学科平山孝人教授から演奏テクニックや曲の盛り上げ所など専門的なアドバイスを頂きながらメンバーの士気も右肩上がりです。LIVE当日はビートルズ等の洋楽を中心に、懐かしいJ-POPを加えた多彩なプログラムでお楽しみ頂きます。尚、今後もRSSCのメンバーを募集しており音楽が大好きで楽器演奏できる16期生の皆さんの練習見学もお待ちしております、是非ともよろしくお願ひします。



## 立教セカンドステージ大学創立15周年記念公開講演会

2023年12月2日(土)、池袋キャンパスにおいて、「立教セカンドステージ大学の15年—これまでの歩みと、これから—」と題して、公開講演会が3部形式で開催されました。会場には、大勢のRSSC受講生、修了生、教職員、一般の方が来場しました。

第1部は、RSSC創設メンバーである笠原清志氏(世田谷区生涯大学学長、立教大学名誉教授)による「立教セカンドステージ大学の草創期—新しいシニアの学び舎の誕生—」と題した講演でした。笠原氏は、理念の運動体としてのRSSCが、高齢社会の進行する中で、職縁関係から学縁関係の創出、再社会化の場としての大学の必要性から、2008年度に開設されたこと。RSSCの理念は、RSSCでシニアが「学び直しの機会による新しい社会参加と生き方」を学び、さらには「社会に対して何かを要求するのではなく、私たちは社会に対してこのようなことができる」と提案し、その実現のために行動していくという能動的な態度を創出していくことと語られました。



第2部は、本科生と専攻科生の話でした。本科生からは、「立教セカンドステージ大学での私の学び」と題して、入学動機に始まり、学びの縁をつなぎ、新しい人生を歩みだしている様子が伺われました。専攻科生からは、「立教セカンドステージ大学での学びを経て」と題して、RSSCを十二分に活用するだけでなく、RSSCをベースに学外へのつながりを作り出し、積極的に楽しんでいる様子が伝わってきました。

第3部は、萩原なつ子氏(文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会副会長、(独)国立女性教育会館理事長、立教大学名誉教授)による「これからの生涯学習のあり方とは—立教セカンドステージ大学への期待—」と題した講演でした。萩原氏は、人生の4つのワーク(家庭、学習、有給、ギフト)と、生涯を通じて楽しく学び続ける事ができるウェルビーイングな社会づくりについて語られました。萩原氏自身のリスクリングの経験や社会貢献活動の話をお話しながら、ユーモアにあふれた講演をしていただきました。

## イベント紹介



◆**入学式** 4月3日(月)、立教セカンドステージ大学の入学式がチャペルにて執り行われました。2年目の専攻科生はリラックスした表情で、初めての本科生は少し緊張した面持ちで、式に臨みました。荘厳なパイプオルガンが響く中、新しい第一歩を仲間と共に踏み出しました。



◆**ホームカミングデー** 立教大学校友会主催のホームカミングデーに、立教セカンドステージ大学同窓会は毎年参加しています。昨年度の修了論文発表、同好会・研究会活動紹介、特別講演会が行われました。あいにくのお天気でしたが、いずれの教室も大変な熱気に包まれました。豊島区の高際みゆき区長も訪れ、「大雨にもかかわらず大盛況ですね。」と感心しておられました。



14:00~は、マキムホールM201教室にて上田信先生による特別講演「戦国日本を見た中国人—ゆかりの地を訪ねて—」が開催されました。先生のお話により、満席の同窓生達から熱い質問が飛び、にこやかに先生がお答えになり、あちらこちらに笑顔の花が咲きました。



### ◆クリスマス

**点灯式★** 11月27日(月)、シンボルツリーのイルミネーション点灯式が行われました。立教の美しいクリスマスツリーは、立教生の心をときめかせ、温めてくれます。



**クリスマス礼拝★** 12月14日(木)チャペルにて、RSSC生のためのクリスマス礼拝が行われました。プラントチャプレンのお導きにより参加者全員が祈りを捧げ、聖なるお昼のひと時を過ごしました。



**クリスマスパーティ★** 12月14日(木)夜は、第一食堂にて立食パーティが開かれました。水上副学長、浪花チャプレン、ゼミのお世話役のおかげで大いに盛り上がりしました。

## これから修了までに行われる行事を一部紹介します

◆**修了論文発表会** 修了論文発表会は、1月に提出された修了論文を発表する場となっています。2023年度の発表会は、2024年3月7日(木)、8日(金)の両日に開催される予定です。例年ですと本科、専攻科の各ゼミから選抜された受講生から研究成果が発表されます。発表されるテーマは広範囲にわたり、発表者と参加者が発表内容について質疑応答をかわすことで理解を深めることができます。

◆**修了式・修了証書授与式** 2023年度専攻科生と本科生の修了式・修了証書授与式が2024年3月22日(金)に開催される予定です。昨年度は、チャペルで修了式が厳かに執り行われた後で、教室において修了証書授与式が行われました。



# 「異世代スポーツ応援！がんばれ立教」

RSSCの学外での楽しみの一つが、カレッジスポーツで奮闘する立教大学体育会を応援すること。世代を超えて、学部生と一緒にRSSCも応援。東京六大学野球はじめ、駅伝、アメフトを応援するRSSCメンバーの様子をレポートと写真で振り返る。

## 東京六大学野球2023秋季リーグ戦（9/9～10/30神宮球場）

### 六大学野球



対戦校とエールの交換。  
六大学野球ならではの一幕。  
写真提供 立教大学広報課

**観戦レポート** 今季初応援！先制点許すも、4回に逆転。その後も両軍打ち合いの打撃戦。結果は7対11の敗戦となったが、8回3点を取られた直後に負けず3点を取り返す猛攻。やられたらやり返す諦めない姿勢に応援席も熱くなった。この時に歌った「第一応援歌」のなんと心地いいことか。われらの行く手に敵ぞなし、行け立教健児！（9/10 慶応2回戦、T.K.）

今季最終戦。東大の猛追を細かい継投策で逃げ切って4対2で勝利。1年生の佐山投手が初勝利をあげ、来季への希望をいだかせました。応援席では最終学年のリーダー部2人が最後に感極まり男泣き。観客からは温かい拍手と声援が鳴りやみませんでした。RSSCの皆さん是非神宮に足を運び応援しましょう！（10/22 東大2回戦、Y.I.）



10/21勝利のスコアボード



立教応援席 ブラバン、チアが  
老若男女オール立教の応援で後押し  
写真提供 立教大学広報課



10/8 早稲田2回戦  
セカンドステージ有志による応援



ここから未来の神宮のスターが誕生。  
写真提供 立教大学広報課

### 箱根駅伝

## 東京箱根間往復大学駅伝競走 予選、本選（予選10/14、本選1/2, 3）

**観戦レポート** 正月2日朝8時、通過予定の30分前に沿道に立つ。すでに沿道一列目に入る隙間もなく、多くの人が選手たちの姿を今か今かと待っている。昨年と比べても多くの観客が集まっている。それだけ多くの人達の注目を集めて走る1区林選手に大きな声援を送る。「頑張れ！林！頑張れ！立教！」選手たちはあっという間に目の前を過ぎ去っていった。復活して今年2年目、シード権奪取はならなかったが、それは来年の楽しみにしよう。頑張れ立教駅伝チーム！！（T.K.）

大手町のスタート地点は、寒さに負けることなく各出場校が応援を繰り広げて、正月の風物詩にふさわしい華やかで活気に満ち溢れている。昨年をはるかに上回る人数の立教大応援団が、立教駅伝チームに応援のエールを送り続けている。箱根に向けて、そして明日のゴールに向けて、いざ走れ立教健児。（Y.I.）



ゴールに向けて力走を続ける、10区関口選手  
写真提供 立教大学広報課

## 関東学生アメリカンフットボール連盟TOP 8（9/2～11/23）

### アメフト

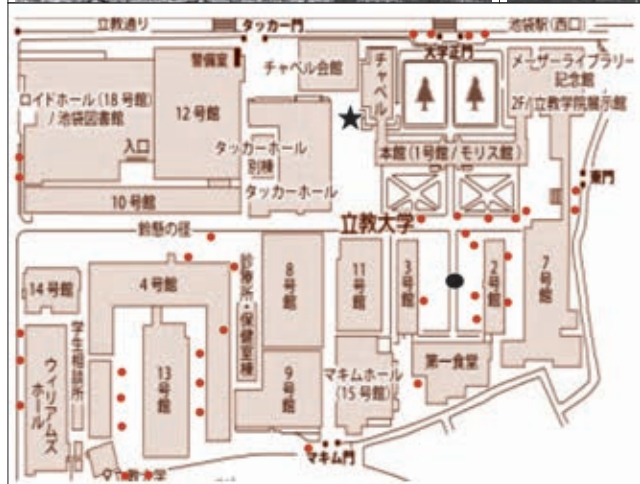


写真提供  
体育会アメリカンフットボール部

**観戦レポート** 今季最終戦東大戦、会場は横浜スタジアム。ナイターにも関わらず、多くのファンが集まった。3塁側ラッシュャーズの応援席は紫のグッズを持ち、RSSC世代も熱のこもった応援を繰り広げる。もちろん第1Qから終始優勢。合計9つのタッチダウンを決め、62対35で圧勝した。関東学生アメリカンフットボール連盟の最上位グループ「TOP 8」で、今季5勝1敗で法政と並び同率1位となった。直接対決の結果で全日本選手権への切符は逃したが、来シーズン、1965年から遠ざかっているリーグ優勝、甲子園ボウル優勝も夢ではない。チーム名の由来である、アメフトの父ポール・ラッシュも見守っている。がんばれ、ラッシュャーズ！（11/23 東大戦、T.K.）

## 立教キャンパスの花巡り

立教と言えば鶯や鈴懸の径で有名ですが、季節の花々にも、見どころがたくさんあります。「立教のキャンパス内には多数の桜があります」そう教えてくれたのは、立教学院総務部施設課の方々。藤の季節には、藤棚の下で学生たちが自由にくつろいでいます。施設課の方が、立教ならではのスポットと紹介してくれたのは、チャペル会館前の《聖書にまつわる植物》のコーナーです。アーモンド、オリーブ、大麦、ザクロ、小麦などが植えられています。花を眺めながら、キャンパスをお散歩してみてもいいかもしれません。



## 立教大学周辺池袋マップ

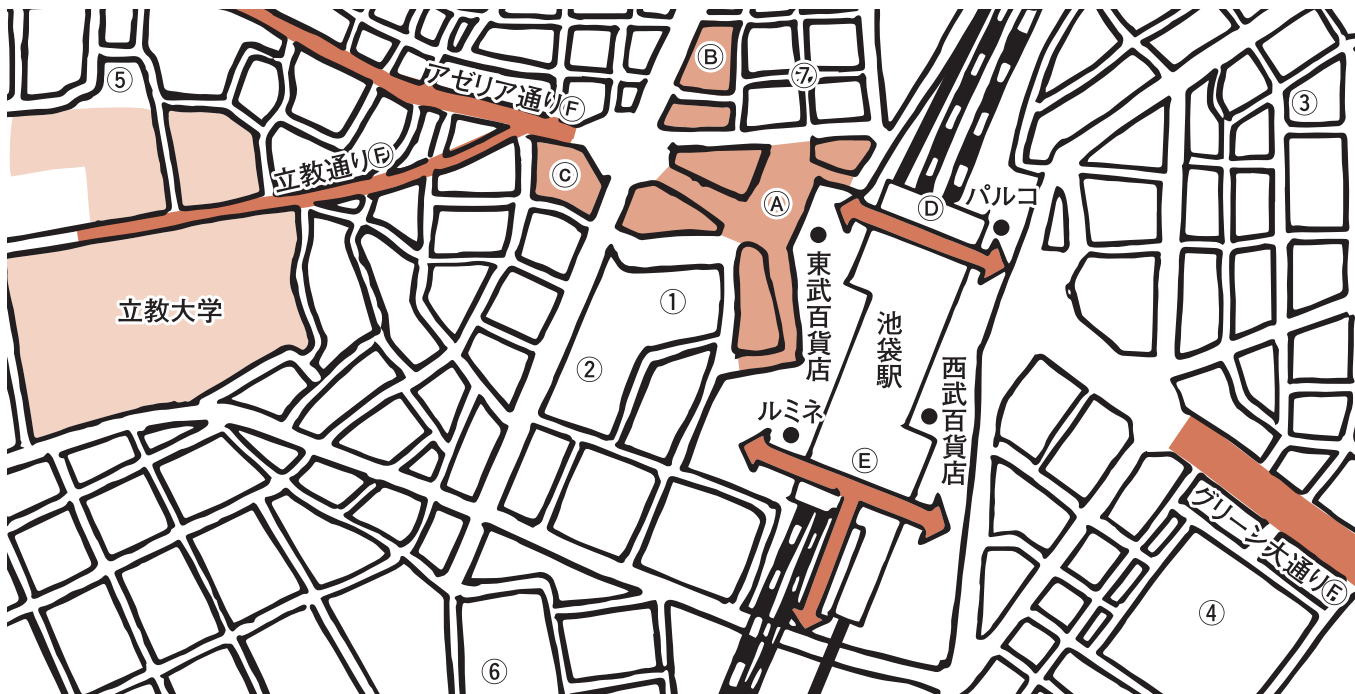
昨年、池袋駅開業120周年、立教大学池袋移転105年を迎えた池袋は、今後変革の時を迎えようとしています。池袋は「国際アート・カルチャー都市」「ウォークブル都市・池袋」をめざして、再開発計画が目白押しです。特に西口は駅前から立教大学まで、段階を経て大きく変わることになるでしょう。

### 地名)

- ①池袋西口公園  
(グローバルリング)
- ②東京芸術劇場
- ③Hareza池袋
- ④南池袋公園
- ⑤旧江戸川乱歩邸
- ⑥自由学園明日館
- ⑦池袋チャイナタウン

### 再開発計画)

- Ⓐ池袋駅西口地区再開発  
(高層ビル3棟)
- Ⓑ西池袋1丁目地区再開発
- Ⓒ旧マルイビル再開発
- Ⓓ北デッキ
- Ⓔ南デッキ
- Ⓕ東西シンボルロードの整備



【編集後記】 2023年6月8日に第1回ニューズレター委員会を開催し、第30号の作成作業がスタートしました。委員会は原則月1回開催し、記事に関するアイデアの提案、記事の企画内容の検討、記事の担当者の決定などを経て作業を進めました。編集という作業に慣れないこともあり悪戦苦闘をしましたが、30号という節目のニューズレターが1年間の記憶となるよう委員一同心掛けてきました。アンケートにご協力いただいた方々、快く原稿を書いて下さった方々に感謝を申し上げます。(前田)

【委員】 (本科) 須藤修平、川上知宏、伊木盛之、松木暢子、松田裕子、井上義夫、丹野成、毛利朋子、梅山毅、勝野雅光 (専攻科) 高輝子、宮本ひろみ、齊藤公一、今村正邦、前田信雄 (担当教員) 大野久田中敏彦\*(昨年10月まで委員でしたが、本年1月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。)